



初めての Wyse

検証向けゼロコンフィグ環境作成ガイド

---

**A Technote by  
Sales Engineering  
Nov 2015**

---

## 1. 概要

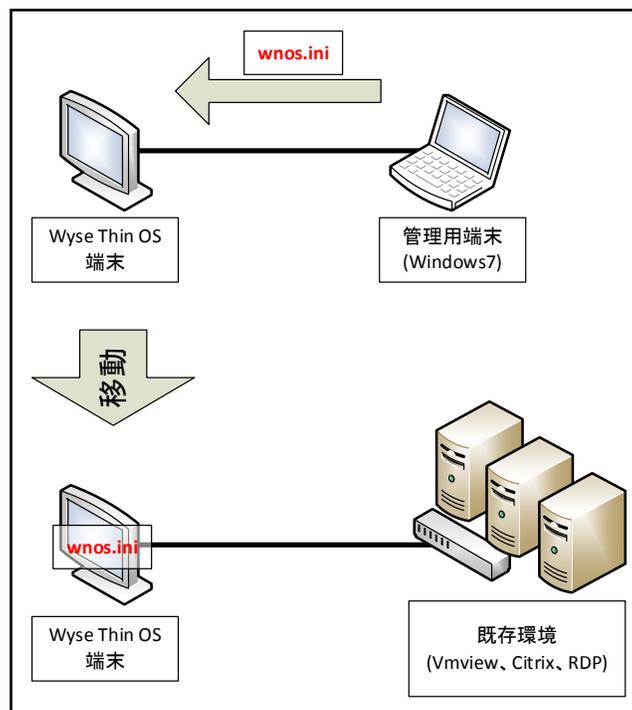
本ドキュメントは大規模なゼロコンフィグ環境が配備されていない環境や小規模・検証環境等で「Dell Wyse Thin OS」を設定・構築するための手順をご紹介します。

ゼロコンフィグ環境の構築についてはデルテックセンターブログもご覧ください。

- 「Wyse ゼロコンフィグレーション」をセットアップしよう【解説／基本編】

<http://ja.community.dell.com/techcenter/b/weblog/archive/2014/02/14/wyse-zero-config-setup-basic>

本資料は P2P で Wyse Thin Client 端末を Windows7 がインストールされた管理端末と接続して wnos.ini を Wyse Thin Client 端末へダウンロードし、既存環境へ接続して使用するシーンを想定した手順となります。



なお、本資料手順における Windows の操作に関しましてはご利用の Windows 端末のサポートベンダーへお問合せいただきますようお願いいたします。

## 2. 環境

管理用端末 Windows 7 Enterprise Edition

Wyse Thin OS 端末 DELL WYSE Thin OS 8.x

既存環境 VMview、Citrix、RDP 等

## 3. 管理用端末の設定手順(Windows 側操作)

3-1. 既存ネットワーク環境から切り離し、以下手順にて IP アドレスを手動で割り当てます。

[スタートメニュー] > [コントロールパネル] > [ネットワークとインターネット] > [ネットワークと共有センター] > [アダプターの設定変更] > [ローカルエリア接続]を右クリック > [プロパティ] > [インターネットプロトコルバージョン 4 (IPv4)]を選択し[プロパティ] > [次の IP アドレスを使う]にチェックを入れ、下記項目を記載

※値は例ですのでお客様環境で任意の値をご入力ください。

IP アドレス : 192.168.100.1

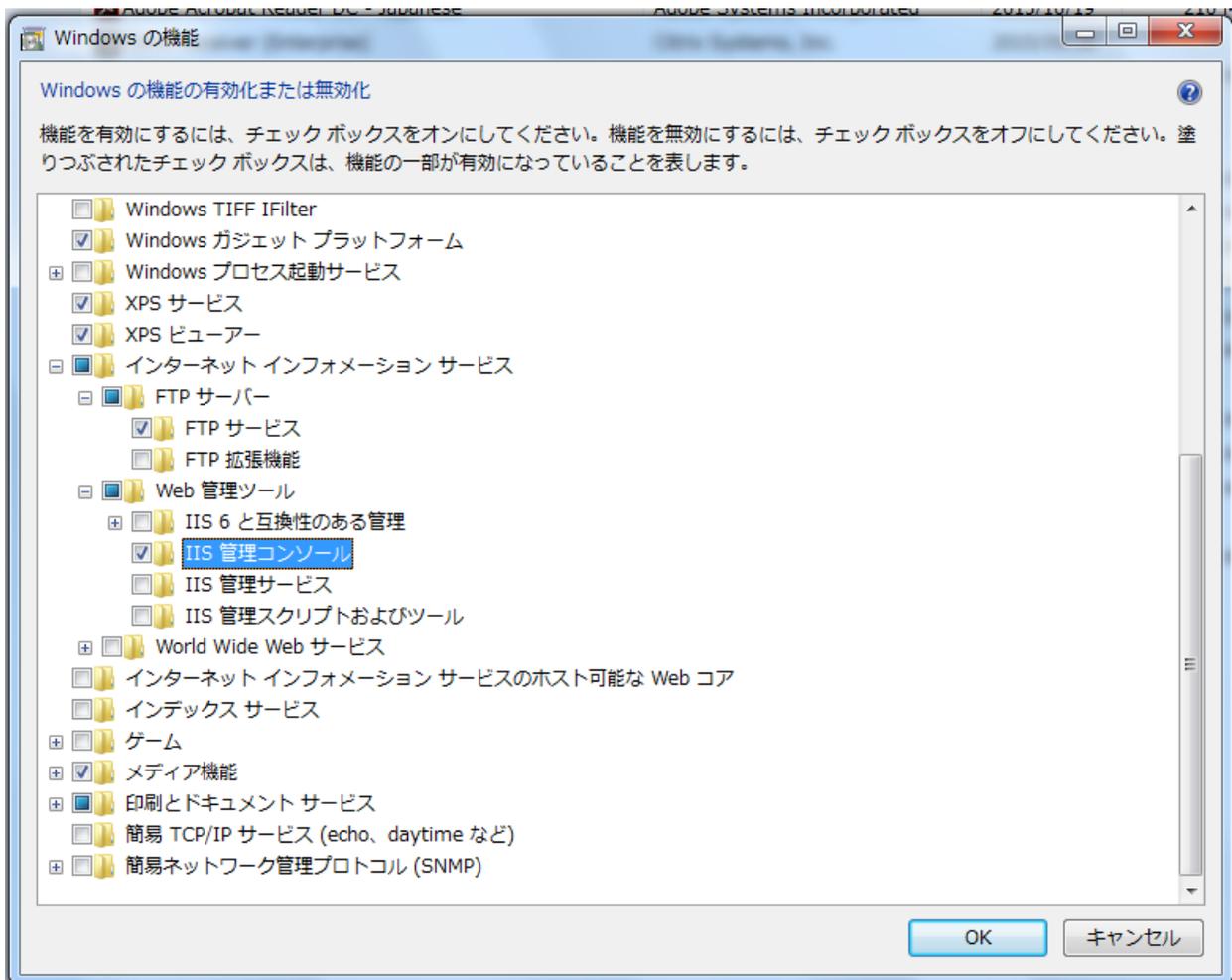
サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 空白

※ファイアウォールは一時的に無効化してください

### 3-2. Windows7 に FTP の役割を追加します。

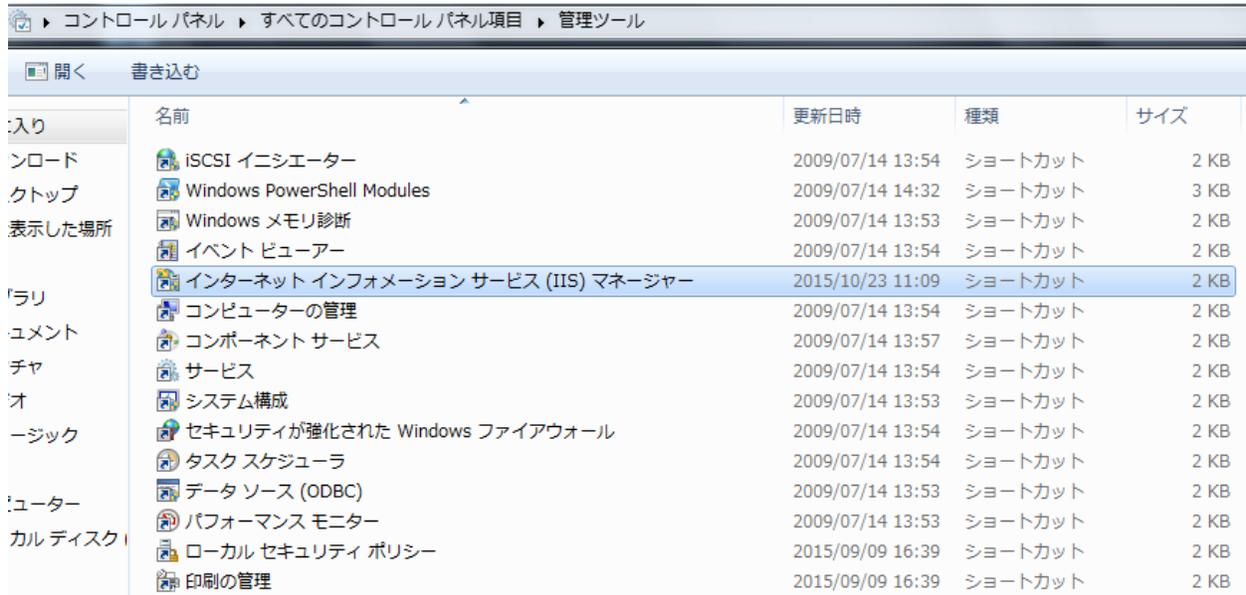
[コントロールパネル] > [プログラム] > [Windows の機能の有効化または無効化] > [インターネットインフォメーションサービス]項目の[+]を選択して展開 > [FTP サーバー]及び[web 管理ツール]の項目を同様に展開 > [FTP サービス]と[IIS 管理コンソール]にそれぞれチェックし[OK]を選択



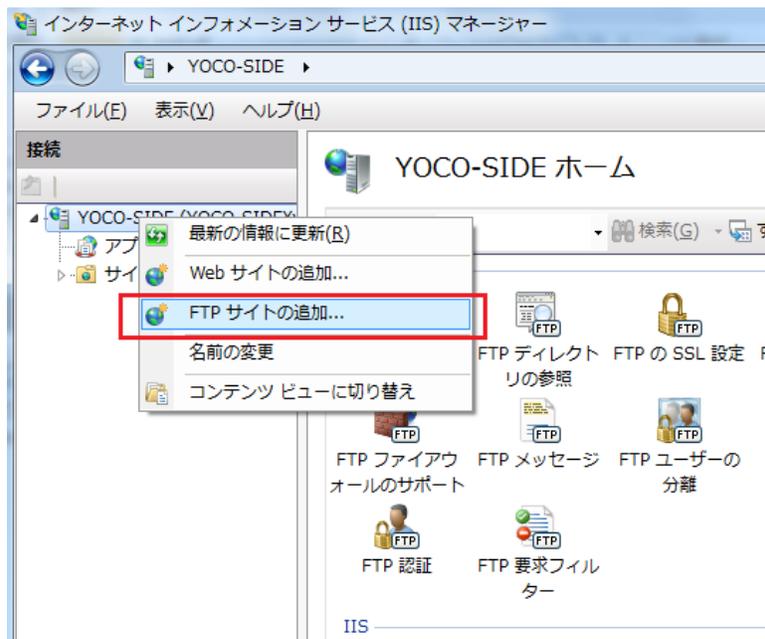
そのままインストールが開始されますので完了までしばらくお待ちください。

3-3. FTP サーバーにサイトを追加します。

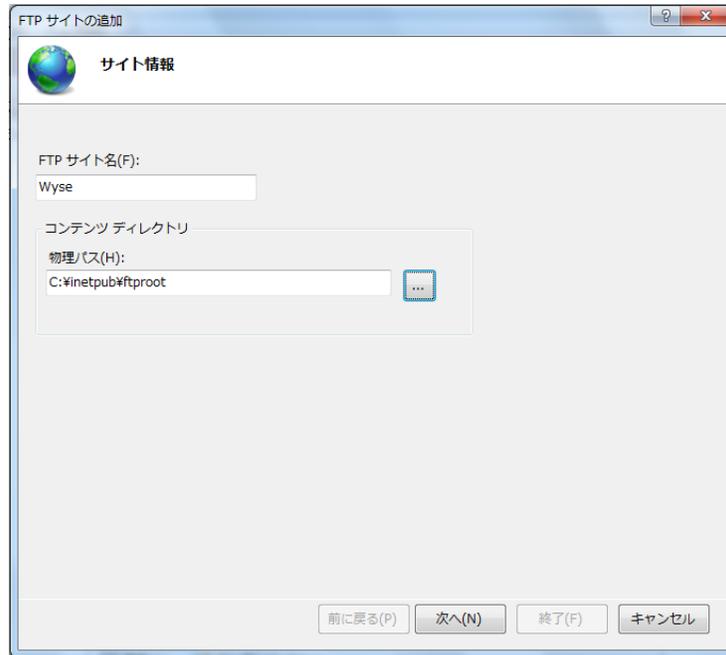
[コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]を選択して開きます。



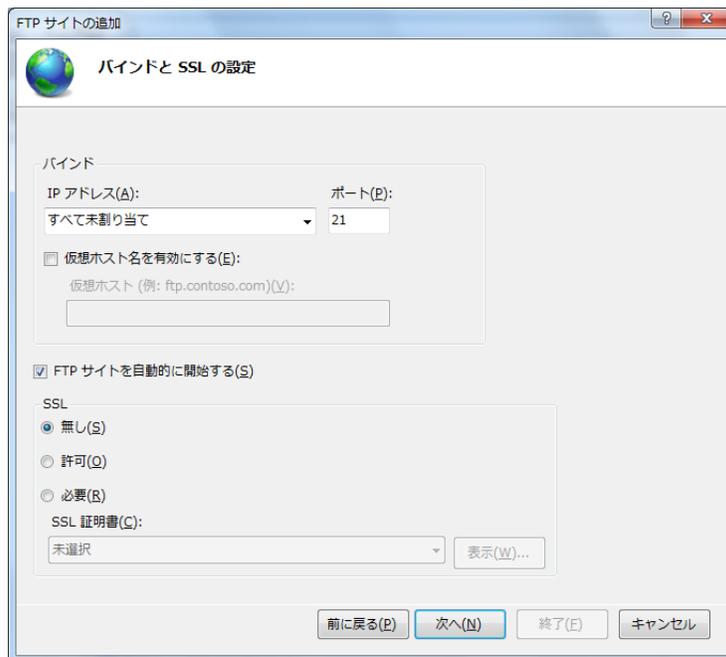
左側ツリーにてコンピュータ名を右クリックして[FTP サイトの追加]を選択します。



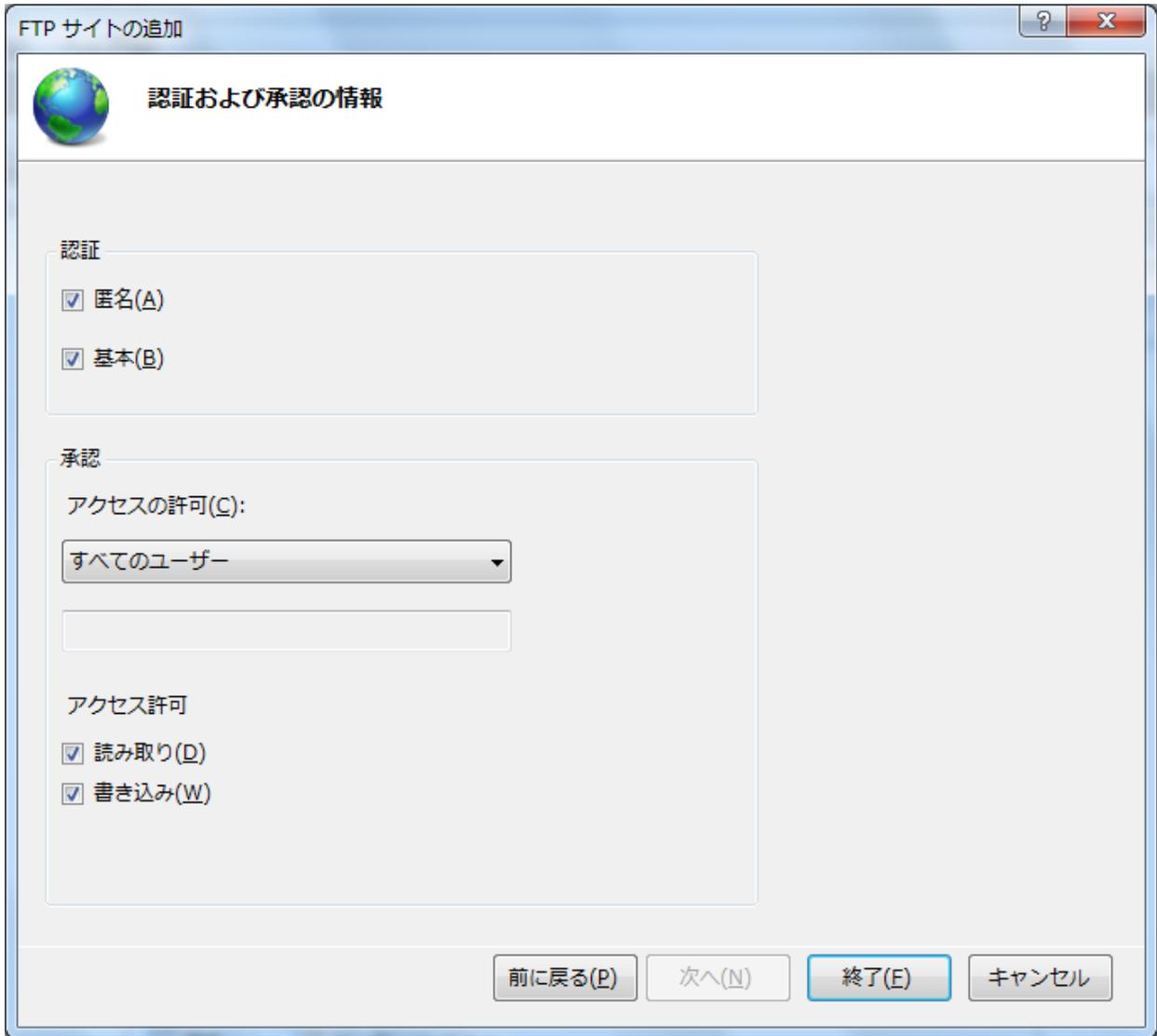
[FTP サイト名]に「Wyse」、[物理パス]に C:\inetpub\ftproot を設定 ([...]ボタンで選択)し、[次へ] をクリックします。



[SSL]セクションで[無し]を選択し[次へ]をクリックします。



[匿名]と[基本]の両方をチェックします。[アクセス許可]を「すべてのユーザー」に設定し、[読み取り]と[書き込み]の両方をチェックします。[終了]をクリックしてウィザードを完了します。

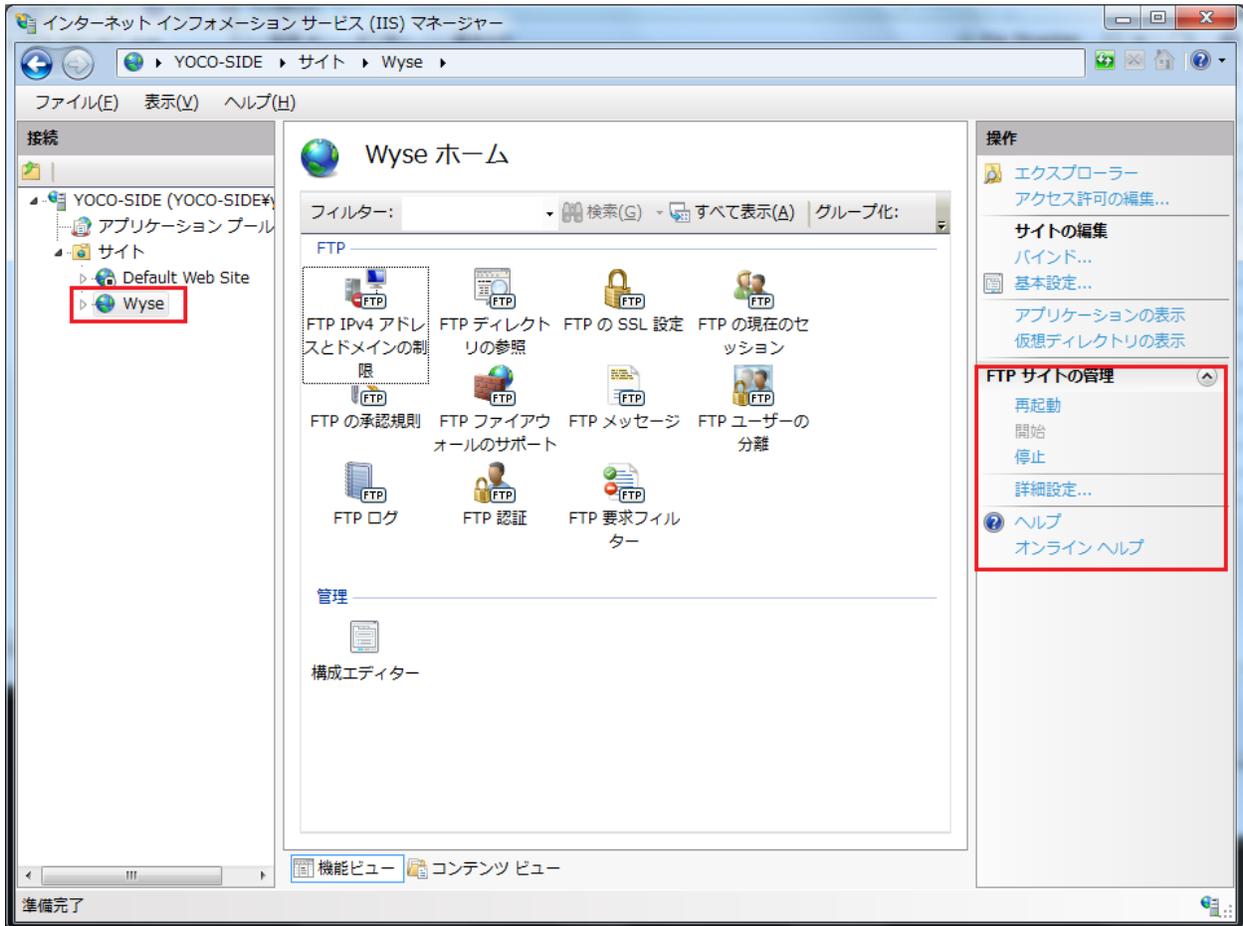


The screenshot shows a Windows dialog box titled "FTP サイトの追加" (Add FTP Site). The main heading is "認証および承認の情報" (Authentication and Authorization Information). The dialog is divided into three sections:

- 認証 (Authentication):** Contains two checked checkboxes: "匿名(A)" (Anonymous) and "基本(B)" (Basic).
- 承認 (Authorization):** Contains a label "アクセスの許可(C):" (Access Permissions) followed by a dropdown menu currently set to "すべてのユーザー" (All Users). Below this is an empty text input field.
- アクセス許可 (Access Permissions):** Contains two checked checkboxes: "読み取り(D)" (Read) and "書き込み(W)" (Write).

At the bottom of the dialog, there are four buttons: "前に戻る(P)" (Back), "次へ(N)" (Next), "終了(E)" (Finish), and "キャンセル" (Cancel). The "終了(E)" button is highlighted in blue.

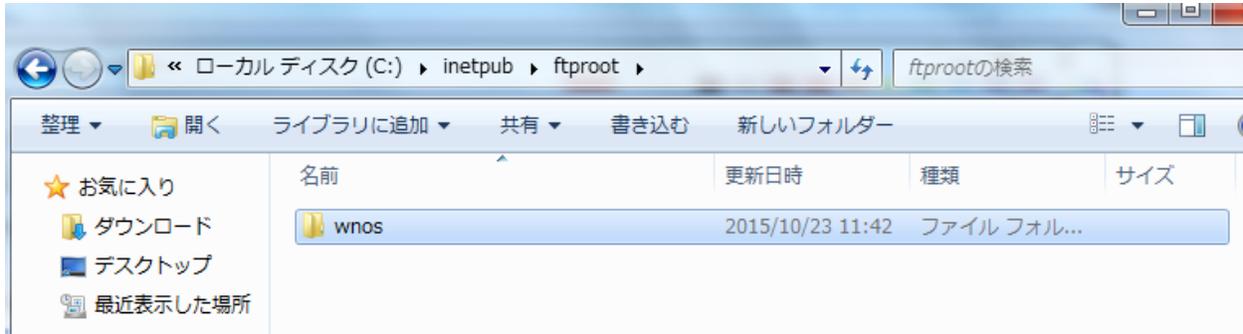
IIS マネージャーの画面左側ツリーにて新規サイト[Wyse]を選択し、右側ペイン[FTP サイトの管理]にて[開始]がグレーアウトしていることを確認します。なっていない場合は[開始]をクリックして FTP を開始します。



3-4. wnos 展開用フォルダを作成します。

C:\inetpub\ftproot 直下に[wnos]という名前のフォルダを作成します。

本手順では簡易な設定のためサブディレクトリは作成しませんが、必要に応じてサブフォルダも作成してください。



3-5. 作成した wnos フォルダに wnos.ini ファイルを作成します。

Windows 上でメモ帳を開き、ひとまず内容は空のまま[ファイル] > [名前をつけて保存]を選択します。

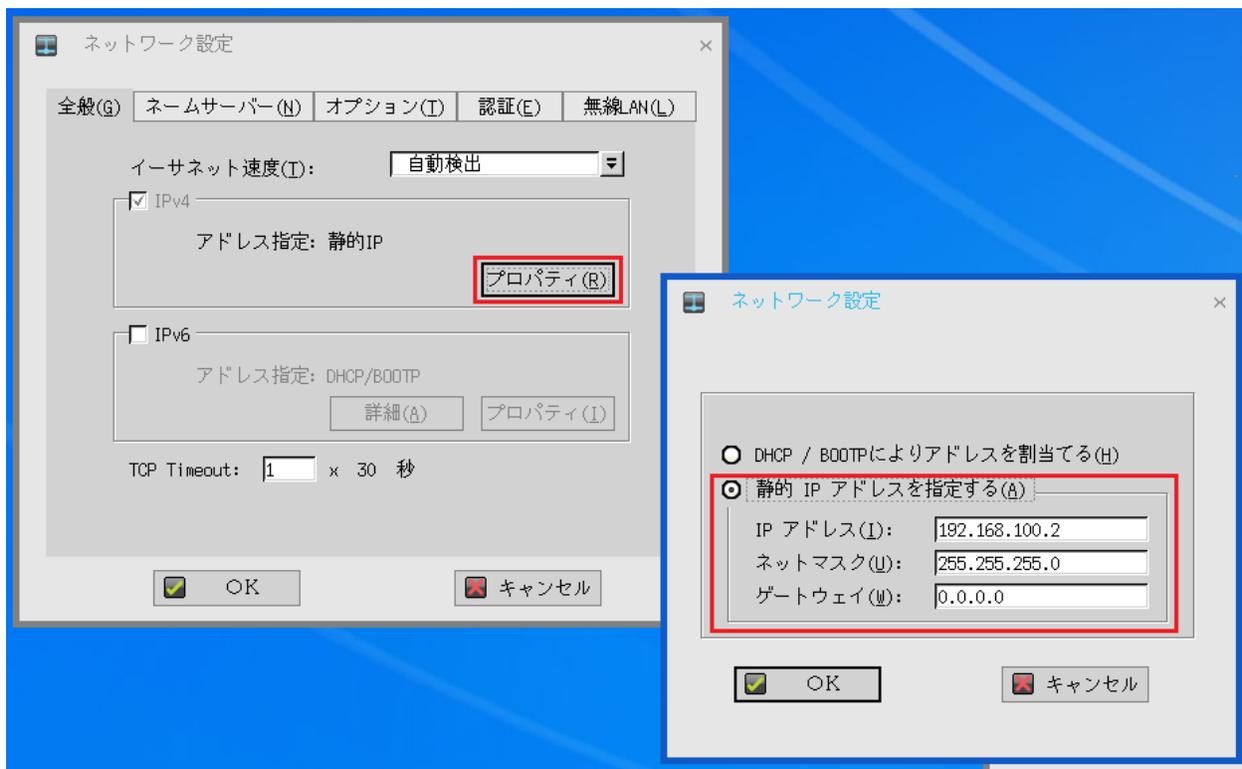
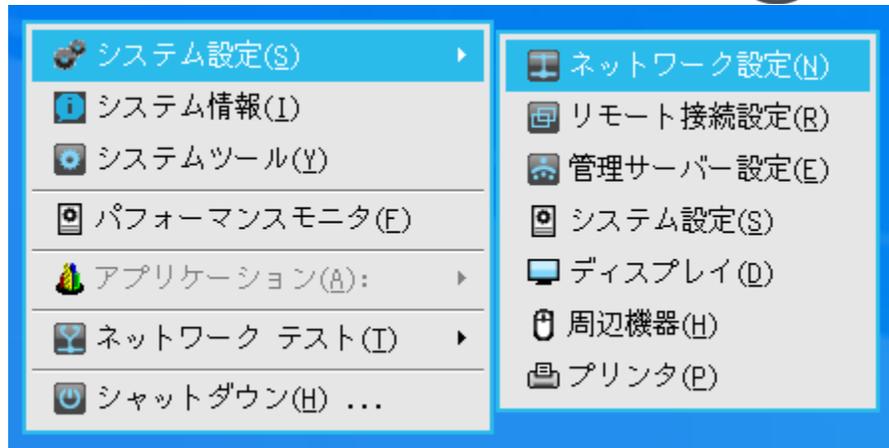
ファイルの種類を[すべてのファイル]とし、名前を[wnos.ini]として

C:\inetpub\ftproot\wnos に保存します。

## 4. Wyse Thin Client 端末の設定

4-1. 既存ネットワーク環境から切り離し、以下手順にて IP アドレスを手動で割り当てます。

デスクトップ上任意の場所を左クリックしてメニュー表示 > [システム設定] > [ネットワーク設定] > [全般]タブ > IPv4 の[プロパティ]をクリック > 静的 IP にチェックを入れ、下記項目を記載



※値は例ですのでお客様環境で任意の値をご入力ください。

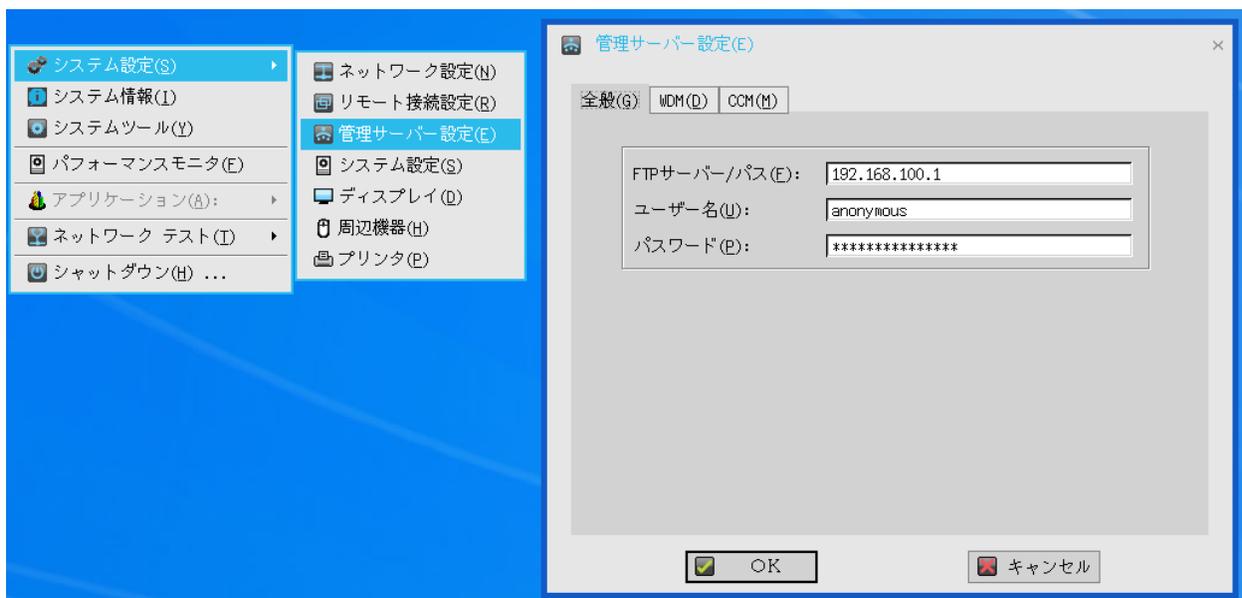
IP アドレス : 192.168.100.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 空白

4-2. wnos.ini 参照先のアドレスを設定します。

デスクトップ上任意の場所を左クリックしてメニュー表示 > [システム設定] > [管理サーバー設定] > [全般]タブ > FTP サーバーのアドレスに 3-1 で設定したアドレス(本資料例では 192.168.100.1)を入力します。ユーザー名・パスワードはデフォルトのまま[OK]を選択します。



## 5. 配信用 wnos.ini の作成

手順 3-5 で作成した wnos.ini に設定を記述します。

以下に RDP・VMview・Citrix の各環境における設定例を記載しますが、ご使用の Wyse Thin OS のバージョンに沿った INI ファイルリファレンスガイドをご参照ください。

## 5-1 RDP(リモートデスクトップ)環境の設定例

###ここより下をコピーし wnos.ini へペーストしてください###

```
# ローカルサインオン設定
```

```
Signon=no
```

```
# RDP 接続設定
```

```
Connect=RDP ¥
```

```
Description="識別名" ¥
```

```
Host=ホスト IP アドレス¥
```

```
Colors=true ¥
```

```
Domainname="ドメイン名" ¥
```

```
Autoconnect=0
```

```
# セッション終了後、端末自動電源 OFF 設定
```

```
# 自動的に端末をシャットダウンする設定
```

```
Autosignoff=yes ¥
```

```
Shutdown=yes
```

```
ShutdownCount=0
```

```
#wnos.ini の情報を端末へキャッシュ
```

```
#本資料の手順ではこちらの記載は必須となります。
```

```
#Wyse3010(T10)をご利用の場合は EnableCacheIni=yes で置き換えてください。
```

```
MirrorFileServer=yes
```

```
###RDP 設定例ここまで###
```

## 5-2. VMview 環境の設定例

```
###ここより下をコピーし wnos.ini へペーストしてください###
```

```
# WTOS ローカルログオン（電源 ON 時に認証ダイヤログを表示する）
```

```
SignOn=yes
```

```
# VMWare Horizon View コネクションサーバーへの接続
```

```
ConnectionBroker=VMware
```

```
VDIBroker=https:// IP アドレス SecurityMode=None
```

# 端末自動シャットダウン (待ち時間 0 秒)

# ICA/RDP セッションのログオフ/切断の際に

# 自動的に端末をシャットダウンする設定

autosignoff=yes ¥

shutdown=yes

shutdownCount=0

#wnos.ini の情報を端末へキャッシュ

#本資料の手順ではこちらの記載は必須となります。

#Wyse3010(T10)をご利用の場合は EnableCacheIni=yes で置き換えてください。

MirrorFileServer=yes

**###VMview 設定例ここまで###**

### 5-3. Citrix 環境の設定例

###ここより下をコピーし wnos.ini へペーストしてください###

```
# WTOS ローカルログオン (電源 ON 時に認証ダイアログを表示する)
```

```
SignOn=yes
```

```
# ICA 公開デスクトップ接続設定(カスタム ICA 設定)
```

```
Connect=ICA ¥
```

```
Description=Citrix デスクトップ ¥
```

```
BrowserIp= IP アドレス ¥
```

```
Application=desktop ¥
```

```
domainname=ドメイン名 ¥
```

```
fullscreen=yes ¥
```

```
autoconnect=1
```

```
# 端末自動シャットダウン (待ち時間 0 秒)
```

```
# ICA/RDP セッションのログオフ/切断の際に
```

```
# 自動的に端末をシャットダウンする設定
```

```
autosignoff=yes ¥
```

```
shutdown=yes
```

```
shutdownCount=0
```

```
#wnos.ini の情報を端末へキャッシュ
```

```
#本資料の手順ではこちらの記載は必須となります。
```

```
#Wyse3010(T10)をご利用の場合は EnableCacheIni=yes で置き換えてください。
```

```
MirrorFileServer=yes
```

**###Citrix 設定例ここまで###**

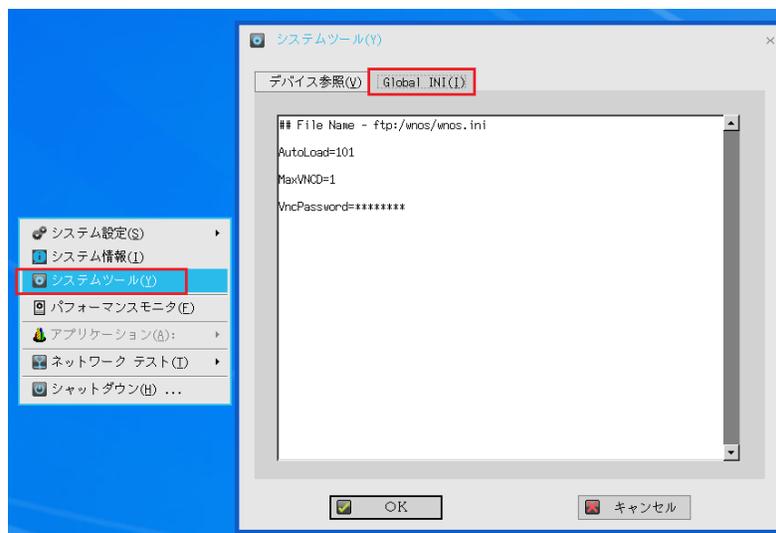
## 6. wnos.ini のロード

6-1. Wyse Thin Client 端末と管理用端末を P2P で接続します。

6-2. Wyse Thin Client 端末を再起動し、wnos.ini を読み込ませます。

6-3. 以下手順で wnos.ini が読み込まれていることを確認します。

デスクトップ上任意の場所を左クリックしてメニュー表示 > [システムツール] > [Global INI]タブを選択 > 手順 5 で作成した wnos.ini が反映していることを確認します。



## 7. 既存環境への接続

7-1. 手順 4-1 の設定にて Wyse Thin Client 端末のネットワーク設定を既存環境に合わせ、管理端末から切り離します。

7-2. 既存環境へ接続し、テストします。

手順のご案内は以上となります。

## Appendix A

### ■ Wyse Thin OS でのユーザー権限の扱いについて

Wyse Thin OS ではデフォルトで管理者権限でログインされます。

ユーザーの権限を制限し設定変更をさせないためには Privilege=Low(もしくは None)を wnos.ini に追記してください。

また、制限ユーザーから一時的に管理者権限への昇格が可能なように設定するには AdminMode=yes Password=XXXXXX を合わせて記載してください。

詳細については INI ファイルリファレンスガイド Priviledge セクションをご確認ください。

## Appendix B

### ■ 補足資料

wnos.ini の記法や本番環境下での FTP サーバー設定については以下の記事もご参照ください。

- 「Wyse ゼロコンフィグレーション」をセットアップしよう【解説／基本編】

<http://ja.community.dell.com/techcenter/b/weblog/archive/2014/02/14/wyse-zero-config-setup-basic>

- 「Wyse ゼロコンフィグレーション」をセットアップしよう【応用編】

<http://ja.community.dell.com/techcenter/b/weblog/archive/2014/02/14/wyse-zero-config-setup-advanced>